

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神 こはく館		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成28年1月	評価結果市町村受理日	平成28年1月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年1月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の健康が維持され、今までできていた事の継続や毎日笑顔になれるように支援し生活しています。  
また、ノンアルコールで楽しむ会「みのりの会」も2か月に1回開催し、札幌ビール園で行った会にも参加しました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームユニティー旭神」は、スーパーや飲食店など商業施設が充実しているバス通りに面した住宅地に立地している。近くには公園もあり、利用者と散歩で訪れる機会も多い。管理者を中心に、全職員で運営方針に掲げている地域活動に積極的に参加し、敬老会や盆踊りなど町内の行事を利用者と一緒に楽しんでいる。また、散歩の機会に近隣住宅の庭で花を觀賞しながら写真を撮らせてもらうなど、日頃から地域との交流を深めている。管理者は、法人研修を活用しながら職員の育成を行い、各職員が主体性を持って運営やケアに取り組めるような環境を整えている。また、常に新鮮な目を持つ気持ちを大切に、日頃から職員の意見や提案に真摯に耳を傾けている。介護計画は、利用者担当職員が中心になり、本人や家族、他の職員の意見や提案を聞き取りながら評価や立案に取り組むなど、チームで作る介護計画の視点に沿って作成し、短期目標の具体的なサービス内容を意識しながら適切な支援を行っている。排泄時は羞恥心に配慮してさりげなく声かけしたり、一人ひとりに優しく話しかけて意向を確認しながら丁寧に対応するなど、職員の言葉遣いや対応にも優れている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『地域活動への参加を積極的に支援し地域に根差したサービスを提供』という事業所理念を掲げ職員間で共有しています。	基本理念に沿った運営方針の項目に、地域密着型サービスを意識した文言が含まれている。職員は、地域行事に参加する時や年間の自己目標作成時に意識している。今後も、全職員で理念について更に理解を深めていきたいと考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し資源ゴミへの協力や、夏のご近所散策では挨拶を交わし顔見知りになった方もいます。	町内の敬老会に利用者が参加したり、事業所の夏祭りに、テントや椅子などの町内会の備品を借りている。歌や紙芝居、旭神太鼓のボランティアの来訪もある。今後は、子供達との交流を継続的に行えるように働きかけていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域に向けての勉強会はおこなっておりません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。	外部評価や避難訓練結果報告、介護保険制度の改正について説明したり、町内からの情報提供を受けている。会議案内と議事録を全家族に送付しているが、限られた家族の参加になってきている。	テーマを記載した会議案内を送付するなどの工夫で、参加できない家族の意見も会議に活かされるよう期待したい。また、テーマに沿った内容や質疑応答を記載するなど、議事録が更に充実するよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて電話連絡や直接足を運んだりしながら相談を行い協力していただいています。	管理者は、提出書類の確認などで市役所を訪問したり電話で問い合わせしている。保護課の職員と日頃から連絡を取ったり、来訪時には利用者の様子を伝えながら相談することもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会の議事録は職員が目を通すようになっています。ベットからの離床時、すぐに対応が出来る様に赤外線センサーの設置や鈴が鳴る様に工夫しています。	「禁止の対象となる具体的な行為」を記載したマニュアルを整備している。日頃のケアに関連する禁止行為について職員は理解しているが、年1回は全職員で更に学びを深めていきたいと考えている。外出しようとした時は、状況を見ながら声かけしたり一緒に出かけて安全面に配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止等は委員会や講習参加者の報告書を回覧し確認しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	『成年後見制度』の講習案内があれば参加の呼び掛けをしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	日頃より、面会時・電話連絡等で質問を受け付けています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や職員にも気軽に話していただけるように面会時にはご家族とのコミュニケーションをはかっています。	家族の来訪時や介護計画を説明する時に様子を伝えながら意見や要望を聴き取っている。家族からの意見や要望は、内容に応じてケース記録や連絡ノートに記載したり口頭で伝えている。今後は些細な意見も記載していきたいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月ユニット会議をおこない意見があれば実践しています。	管理者は、日々の業務の中で職員と話をしたり、年2回個別面談を行っている。また、各職員の主体性を持つ気持ちを大切にしながら意見や提案を積極的に取り入れている。職員も、意見が言いやすい環境が整えられていると感じている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6月・11月の人事考課時に面談を行い勤務環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(3ヶ月・1年・3年・主任・管理者)研修を社内で行っています。また外部研修も職員に回覧し参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームとの合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	3月末に1人入居されていますが発言・表情・行動を読み取り安心して暮らせるように心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	来館時にはご家族の言葉を傾聴し良好な関係が保てるように心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の意見・状態を見て一番良い支援を心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の気持ちを聴き一緒にできる事(食器拭き・手すり拭き・畑仕事等)をおこなっています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には行事や日頃の様子をお伝えし、会話でご本人と共に過ごす時間が持てる様に支援しています。これからのケアも相談し一緒に考えていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人と外出をする方には最近の様子をお伝えし、外出の支援をお願いしています。	近隣に住んでいた方が来訪して会話を楽しんだり、仕事関係の知人と一緒に散歩やドライブに出かける方もいる。家族と馴染みの美容室やお墓参りに出かけている。職員と一緒に、好きな物を買に行くこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでは様々な状態の方々が輪になっておこなえる風船バレーや数人単位でおこなえる唄・館内歩行・洗濯物たたみ等で楽しく過ごせるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年に数回訪問をしたり、電話での近況報告をしたり連絡をとっています。年賀状のやりとりもしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	長年、新聞を読まれる方には継続しておこない会話が困難な方にはその方の行動に寄り添い時にはゼスチャーでお互いの気持ちを確認しています。	会話から意向の把握が難しい場合は、簡単な返答や行動などから読み取っている。「焦点情報」シートを活用して出来ることや出来ないことを記載しているが、定期的に更新されているとは言えない。	利用者の現状が把握できるように、「焦点情報」シートに変化などを随時追記しながら、定期的に書類を更新するよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・本人より伺っています。『出来る事・出来ないことシート』で経過を見えています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録には本人の言動も記し職員間で共有しご家族にはひと月の様子を『今月の様子』として渡しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には面会時や電話で報告と次回のケアプランを説明し意見を伺っています。ユニット会議で職員の考えも入れてケアプランを作成しています。	利用者担当職員と計画作成担当者が中心になり、全職員で検討しながら3か月毎に介護計画の見直しを行っている。日々の「ケース記録」にサービス内容を記載し、変化や課題を記入して介護計画の見直しに活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	『ケース記録』に個別の記録をしてケアの実践状況をわかる様になっているのと緊急性・重要性のあるものは『業務日報』の日中の様子・夜間の様子に個別に記載しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスの催しに呼ばれて交流を図っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の催しに参加しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご家族と本人の希望に沿うようにしています。	家族とかかりつけ医を受診する場合は、口頭や書面で利用者の健康状態を医師に伝えている。受診記録は日々の「ケース記録」と「特記録」用紙に個別に記入して情報を共有している。	

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介添書を作成して申し送りをおこなっています。入院中も様子を伺いご家族の意向を聞き取って介護・看護につなげています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時は医師と家族とホームとで話し合っています。	「重度化した場合における(看取り)指針」を作成して、利用開始時に説明している。医療行為が必要になった場合は事業所での対応は難しくなるが、主治医の判断の下、家族の意向に沿って看取りも行う方針である。以前にも看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応マニュアルは見やすい所に提示しています。近隣ホームの方と一緒に救命講習を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練(年2回)おこなっていますが地域の方とは都合が合わずおこなっていません。	水害時の対応について職員間で確認し、年2回、日中の火災を想定した自主訓練を実施しているが、地域住民の参加は得られていない。今後、運営推進会議などで地域との協力体制を再確認し、災害備蓄品の整備も更に進めていきたいと考えている。	消防署の指導の下、地域住民の参加を得た夜間想定避難訓練を実施するよう期待したい。また、地震時における室内の危険箇所の確認とケアの事例に沿った適切な対応について、職員間で確認するよう期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来る事・出来そうな事・出来ない事を見極めそれぞれの場面で不快にならないように伺いながら支援しています。	法人研修で接遇などを学び、優しく話かけて確認しながら丁寧に対応している。排泄時もさりげない声かけで羞恥心に配慮しトイレに誘導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・要望を伺って返答に困っているようなら二者選択出来る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調に合わせて本人にどうしたいのか？伺って毎日を過ごしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗面所には櫛を用意し整髪出来る様にしています。行事では女性は薄化粧や毎日リップクリームで唇を保護しています。男性はシェーバーを渡し毎朝髭剃りが出来る様子を支援しています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	胡麻和えの胡麻を擦ったり、枝豆の殻むきを一緒におこなっています。食器拭きも手伝っていただいています。	ユニット毎に別メニューで提供し、会話から好みの料理を把握している。誕生日に寿司料理を楽しんだり、流しそうめんなどで季節感も味わっている。大型店舗内の飲食店で好きな料理を選んでもらうこともあり、外食の機会を多く取り入れている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主食・副食・水分量はチェックしており不足にならないように声掛けの工夫をしています。お茶が進まない方にはジュースやスポーツドリンクに替えて提示しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの介助・見守りをしています。先に出来る事をしていただき最後は職員が仕上げ磨きをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自力で立てない方には2人介助でトイレでの排泄をおこなっています。	入居時や必要な方の排泄を記録し、排泄パターンを把握している。座位が可能な方は基本的にはトイレでの排泄を支援し、歩行運動も兼ねて誘導している。声かけや排泄後のチェックで3割の方は自力で排泄ができ、綿パンツで過ごしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、起床後にヨーグルトを摂取したり、食物繊維を多めにとるように心掛けています。排便を促す為に体操や歩行運動もとりいれています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴剤を入れ楽しんでもらったり、本人の希望に合わせてゆっくり入っていただいています。拒否がある方には翌日に延ばしたり順番を変えたりタイミングを図ってお誘いしています。	日曜を除き、午後の時間帯に一人週2回の入浴を支援し、希望で3回入る方もいる。体調が悪い時はドライシャンプーや清拭を行っている。意向に沿っての同性介助や2人介助で湯船に浸かり、ゆったりと入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ソファで昼寝をされたり午後より居室にて休まれるなど自由に過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	正確に服薬できるように見守り介助し身体状況の変化に注意を払っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好きな方に唄っていただいて周りの方も参加と一緒に歌ったり、晩酌が日課な方はホームでも毎晩日本酒をのまれています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(こはく館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	友人との外出や町内・近隣のお祭り事に出かけたり本人の希望を聞き散歩に出かけたりしています。	周囲や公園を散歩したり、嗜好品などの個別の買い物に同行している。暖かい時期には毎月外出を計画し、殆どの利用者が参加して留萌などの遠出や、市内の常盤公園で季節感を味わっている。冬季も「旭川冬まつり」を車窓見学したり、神社の初詣やどんど焼きに出かける方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物を希望される方には自己所有のお金を持ってお店に行きます。本人が選び、支払いは出来るところまでお願いし後は職員が支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたいと希望があればすぐに対応しています。年賀状も作成しご家族に送っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温・湿度は1日2回確認し調整しています。季節ごとにリビング内を一緒に飾り付けています。	2・3階のユニット玄関は硝子戸で、外窓のある建物の構造から光が入り開放感がある。居室、洗面所など暮らしの場所は回廊型になっている。居間に畳コーナーを作り、利用者も作業などで活用している。利用者と一緒に季節の貼り絵を作り、装飾などで季節感が感じられるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前で仲の良い方同士洗濯物をたたみながらお話しされたり、ゆっくり新聞を読まれたり1人掛けソファでテレビを見て過ごされて居ます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた家具を用意されたり家族の写真を飾ったりお仏壇や戒名などを置いてご先祖のご供養をされている方もいます。	クローゼットを利用して整頓されている室内に、馴染みの家具や小物類、鏡台、加湿器などが持ち込まれている。好きな縫いぐるみを置き、壁には装飾の小花や家族の写真、作品、暦などの他、職員からの誕生日カードがあり室内に温かさを添えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー作りなので入浴時の移動や車椅子での自操など自分の力で出来る様に支援しています。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームユニティー旭神 さんご館		
所在地	旭川市旭神2条4丁目10番4号		
自己評価作成日	平成28年1月	評価結果市町村受理日	平成28年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の健康が維持され、今までできていた事の継続や毎日笑顔になれるように支援し生活しています。  
また、ノンアルコールで楽しむ会「みのりの会」も2か月に1回開催し、札幌ビール園で行った会にも参加しました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&amp;JigrosyoCd=0172902504-00&amp;PrefCd=01&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年1月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域活動への参加を積極的に支援し地域に根ざしたサービスを提供します、という理念を掲げ職員間で共有しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、資源ごみの協力に参加したり、町内のイベントへは参加できるようにしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々へ積極的に行っていませんでした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に関催し町内の方、ご家族からの意見を取り入れています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて電話連絡や直接足を運んだりしながら相談を行い協力していただいています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については社内に委員会があり、会議等又は資料等を通して情報を共有しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会があり、情報を共有したり、外部の研修等にも参加し再確認する機会をもっています。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会の案内を職員に回覧しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新規契約時に契約書・同意書の説明をし、質問を受けながら行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日ごろから入居者様との話を汲みとり、面会時にはご家族とのコミュニケーションを大切にしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているユニット会議で話し合いを行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	6月・11月の人事考課時に面談を行い勤務環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(3か月・1年・2年・主任・管理者)研修を社内で行っています。また外部研修も職員に回覧し参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームと合同で事例検討や救命講習を開催しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	2月・11月に入居されていますが、ご家族からの情報を含め入居前・入居後の行動や発言を観察しながら安心していただけるように関係を作っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様の状況を面会時や電話等で報告し安心して話していただけるように心がけています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集を含め、現在の入居者様の様子・変化を一番に考え介護計画に反映させています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の持つ力や考えを出せる機会を作り、生活の中に反映させています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的なお手紙や面会時のお話等、色々な面から考えられるようにお話できる機会を作っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	同郷のお話をし笑顔がみられることが多いです。デイサービスへボランティアとして参加し、顔なじみの方との交流も行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	色々な性格や本人の状況の中で、職員が間にはいりコミュニケーションをとったり入居者様の希望を聞いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された入居者様のご家族が季節の野菜等をもってきてくれたりしています。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	場面に応じて希望や想いを傾聴し、その都度できるだけ優先できるようにしています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の状況をセンター方式を利用しご家族に協力いただいたり、担当ケアマネージャーからの情報を利用しています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の行動・言動・健康状態等、毎日の様子は介護記録に残し職員間で共有しています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族の希望、要望、意見を尊重し、3か月毎に計画を見直しミーティングで話し合いを行っています。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録には、介護計画とともに日中・夜間の状況が分かるように記録していき、職員間で共有し、検討しています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスへボランティアとして麻雀にいかれたりして楽しみがもてる方もいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の敬老会への参加や盆踊りへのお誘いをいただきます。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診介助や医療連携の病院での対応もしており、入居者様の訴えや変化がある時に連絡を行っています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師による週一回の健康チェックがあり、常に連絡できる体制になっており、体調の変化に応じて指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供をし、ご家族と連絡をとり面会に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	体調の変化に応じて、医師・ご家族と今後について話し合いをもちます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習への参加や非常時対応マニュアルを用意しています。ホームにAEDも設置しており使い方も学んでいます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っています。		

**Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの性格や心身の状態を考慮し、不快な気持ちにならないように配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・意見を聞き、自己選択・自己決定できるような声かけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様ひとりひとりのペースに合わせて声をかけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人・ご家族の希望に合わせて訪問理容を行っています。髭や爪等も配慮し確認します。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしのヒゲとりや盛り付け等、出来る方には手伝っていただいています。お盆を拭いたりテーブルを拭いたり、できる力を発揮しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食分量・水分量を記録し状態を把握しています。嚥下の様子を見て、とろみを使用したり、水分の工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけをし、仕上げ磨きの介助を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄ができるように、時間をみて声かけをしたり、行動を観察しながら誘導したりしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行を促し体をうごかすよう声かけを行っています。野菜ジュースや食物繊維が豊富な食事も考慮しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調や希望を聞き週2回以上入浴できるように案内しています。希望により、時間をずらしたり別の日になることもあります。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の体調や気持ちに合わせて、居室で休まれたりリビングのソファで休まれたりしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書をファイルに収め、変更が或る時には記録に残して情報の共有をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除が得意な方には、感謝の気持ちを伝えながら一緒に行います。希望があれば嗜好品を代理購入したり、歌うことで気持ちがすっきりする方もいますので、支援します。		

グループホーム ユニティー旭神

自己評価	外部評価	項目	自己評価(さんご館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	畑を見に行きたい等の希望があったり、天候をみて散歩に出かけられるよう支援しています。月1回の数人での外出も行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はご自分でお金を管理されている方はいません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればいつでも対応できる状況にあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気温・湿度を適温に保ち、換気も行います。季節に応じて掲示物や装飾も変化をつけています。日当たりが良く、明るい印象を与えています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席は決まっているが、状況に応じて空いている場所に移動し入居者様同士でお話することもあります。のんびりソファで休まれたりすることもあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や小物を置いている方も沢山いて、安心されている様子です。お花や写真等、個々に応じて好みの物を置いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子使用の入居者様が多いので、安全に移動できるように通路に物をおかないように充分配慮しています。全域に渡って手すりも付けられています。		



## 目標達成計画

作成日：平成 28年 1月 27日

市町村受理日：平成 28年 1月 29日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防署の指導の下、地域住民の参加を得た夜間想定 の避難訓練を実施するよう期待したい。また、地震時 における室内の危険個所の確認とケアの事例に沿っ た適切な対応について、職員間で確認するよう期待 したい。	消防の指導の下、夜間想定 の避難訓練の実施をす る。	次回の避難訓練時に消防立会 の確認をし、再度避難 等適切に行えているか確認 する。また地震時等の避難 についての確認も行う。	6ヶ月
2	23	利用者の現状が把握できるように、「焦点情報」シ ートに変化などを随時追記しながら、定期的に書類を更 新するよう期待したい。	年1回は各入居者様の精神的・身体的情報の確認を 行い書類の更新を行う。	年度ごとに入居者様の状態を 確認し、変更があれば 記入していく。(その都度 変更等あれば記入する)	1年
3	4	テーマを記載した会議案内を送付するなど工夫で、参 加できない家族の意見も会議に活かされるよう期待し たい。また、テーマに沿った内容や質疑応答を記載す るなど、議事録が更に充実するよう期待したい。	運営推進会議での内容(テーマ等)家族様からの、意 見・要望等をとりにいられるようにしていく。	普段より、面会時等に家族様とのコミュニケーション の中から、思い等聞かれた時には、記録に残し、会議で 話し合いのできるようにしていく。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。